

ModelClient

Model: Search

Data Display

BusinessPatternModel
DomainModel
ExtendFinderModel
ExtendFinderProxyModel
ModelFilterModel
ModelGrantModel
ModelIndexModel
ModelIndexPtypeModel
ModelModel
ModelPtypeCascadeModel
ModelPtypeModel
ModelPtypeProcModelModel
ModelStereoTypeModel
PhenomenonModel
PhenomenonStaticModel
ProjectMaster
ProxyModel
PtypeCombinationModel
PtypeModel
StereoTypeModel
StereoTypePtypeModel
StereoTypeReferenceModel
UndoPtypeDetailModel
UndoPtypeModel
UserMaster
UserProjectMaster
ViewModelModel

Search Condition

Ptype	Condition
PtypeTypeCategory	= COMBINATION

PtypeNo	PtypeID	PtypeName	PtypeTypeC...	PtypePatter...	MultipleFlag	PtypeDispN...	PtypeColu...	PtypeColu...	PtypeColu...	Pty...
1943	PT_20083	User Project...	COMBINATL	PEXA	SINGLE	ログインユー...				
1944	PT_20084	ModelModel	COMBINATL	PEXA	SINGLE	モデル定義...				
1945	PT_20085	ModelPtype...	COMBINATL	PEXA	MULTIPLE	現象型リスト				
1946	PT_20086	ModelIndexM...	COMBINATL	PEXA	MULTIPLE	DBインデッ...				

▼未選択
▼未選択
CC Insert
CC Remove
CC Clear

Data Find
Insert
100/594

Save TSV
Save Row

COMBINATION
▼未選択
today Now OK

モデル名の一部の文字列を入力してモデル名を検索します。

モデル名検索時実行ボタ

条件式リスト
ダブルクリックすると、右側のフィールドに条件内容がコピーされます。
条件を編集する時は、ダブルクリックして、CC Removeを押して、条件内容を編集して、

入力した条件式を条件

条件式リストで選択された

条件の項目を指定します。モデルに属する現象型がリストアップ

条件の値を比較子と共に記述します。(条件式に右辺と比較子)*注

条件項目がCategoryのときに選択できる定数名をリストアップします。条件項目がDate型のときに現在の日付・日時をリストアップします。選択すると、イコールと値を上側のフィールドにセットします。

データ検索ボタン、条件を加

表示したデータの行数と実際のデータ行数を表示します。

表示モデルの新規のデータ登録画面をポップアップさせます。

モデル選択時に同時にデータ表示するChekボックス

モデル定義がおかしいとエラーが発生するので、モデル定義の現象型を確認する時は、CheckOffでモデルを選択する。また、データ読み込み時間に時間がかかるときも

モデル名を選択する(SingleClick)で右側のパネルにモデル一覧の情報を表示します。extended finderは表示されません。

モデル選択時、データ検索ボタンを押された時に、データを表示します。
データの行を選択すると、こちらのテーブルに1行分のデータを縦に表示します。
一行表示を選択すると、下部のデータ修正フィールドにデータを

表示データのCSVファイルを書き出す

表示データのUpdatableをプロパティ形式のファイルで書き出します

1行分表示テーブルクリック時に現象型の詳細情報を表示します

1行分表示テーブルのProxy現象型をダブルクリック時、該当Proxyが示すモデルのデータ内容をモデル表示画面に

データ修正フィールド

データ修正フィールドがCategoryのときに選択できる定数名をリストアップします。選択すると、フィールドにセットしま

モデル一覧に表示してあるモデルのプロパティ形式のダンプを行います

1行分のデータ表示テーブル COLUMN,ALIAS,PROCEDUREを表示

データ修正フィールドに 今日(yyyy/MM/dd)

データ修正フィールドに 今(yyyy/MM/dd HH:mm:ss)

データ修正フィールドの

*注1 現行使用できる比較子(比較演算子)は以下のものです。
 "=!,>,<=>,<=>,is null,is not null,like"
 比較子と比較値の間には必ずスペースを1個おく必要があります。
 比較値はスペースを含む文字列を検索することができません。
 現象型が、Categoryの場合は、現象の定数名を指定する必要があります。値では指定できません。
 現象型が、Date型の場合は、2007/11/08:10:34:58のようにyyyy/MM/dd:HH:mm:ssで指定します。日と時の間に(コロン)必要ですので注意してください。
 また、時刻(秒)まで比較する時は、以下のような条件を指定する必要があります。
 CreateDatetime >= 2007/10/03:23:43:48
 CreateDatetime < 2007/10/03:23:43:49

- 例外が発生する場合のチェックについて
- 1)モデルに含まれる現象型の存在チェックをしてください。
 - 2)モデルとテーブルのカラムがあっているか確認してください。
 - 3)モデルの定義をチェックしてください。

